

One Team Hokuetsu ⑥



4月23日（木）今日は1年生の登校日です。
2, 3年生はG suiteの運用が始まっていますね。
大丈夫でしょうか？

さて、今日の対談は・・・

本日は、今年度から本校で勤務されている英語科の**小林笑子先生**へインタビューをしたいと思います。小林先生よろしくお願いします。



関：小林先生は、海外の大学・大学院で学ばれたとお聞きしています。また、各国の若者たちと船で約30ヶ国を訪問する事業にも参加されたことがあるそうですね。絞るのは難しいと思うのですが、特に印象的だったことについて教えてください。

小林：まず思い浮かぶのは南アフリカですね。ひとつの国の中で様々な民族が共存していて、「レインボーネーション」とも呼ばれています。自然も豊かで、地球上の約70%もの植物が見られると言われている、魅力的な国でした。

関：なるほど。他に、忘れられない体験などはありますか。

小林：西アフリカのトーゴという国を訪問した時に肩を脱臼して病院に行った時に、医師がおらず待っている間私はすごく疲れ、どこかに寄りかかりたい気分だったんです。そのとき、英語が通じなかった現地の看護師の方がずっと横に座ってくれて、肩を貸してくれた。言語を超えた、心のふれあいを感じた瞬間でした。

関：コミュニケーションというのは、言葉が話せるかどうかだけではないということですね。小林先生、教員以外にも様々な経験をされていますね。

小林：実は、熊本地震や九州北部豪雨の災害支援に関わっていました。災害支援というと皆さんは主に倒壊した建物の片付けや避難所でのボランティアなどをイメージされるかもしれませんが、それだけではなく、私はNPOのスタッフとして、被災者のニーズをくみ上げて支援者となつなぐ仕事などを行っていました。

関：なんと！災害支援を通して、どんなことを感じられていたのですか。

小林：災害支援においては、もちろん物理的な支援も必要ですが、精神面のサポートを行うことも大切になります。支援は色々な形が可能です。ソフトバンクホークスのサファテ投手が、被災地の子どもたちと野球を通してつながりを作ってくれたこともありました。

関：先生は本当に多様な経験をされていますね。それらは、今教員として働くうえで、どんな風に生きていると思いますか。また、今後やっていきたいことなどを教えてください。

小林：様々な年齢、文化や民族、社会的地位の人たちと関わってきたので、多様な背景を持つ人たちと壁を作らずにコミュニケーションできることでしょうか。今後は、英語の授業や **English Club** での活動を通じて、実践的で、社会に出た後に使えるような英語を生徒に学んでほしいと思っています。そのために、言語のスキルだけでなく、人との関わり方自体においても、生徒をサポートできたらいいですね。

関：ここで急に、新型コロナウイルスの話なのですが…今、本当に多くの人が苦境に立たされていると思います。そういった状況を生き抜くのに必要なマインドってどのようなものだと思いますか。

小林：こんな話があります。アウシュビッツ強制収容所に収容されていたユダヤ人の方々の中で、「外に出られたら何をしよう」と考えていた人の方が、生存率が高かったと。困難に焦点を置くのではなく、その先にあることに焦点を置くことが大切なのではないでしょうか。ふだんから物事を前向きにとらえていくことも、困難に直面したときの自分のとらえ方につながると思います。復興支援の際も、「元通りにするだけでなく、前進しよう」という話を聞きました。今回も、休校の間にオンラインでの学習サポートができたりと逆境の中でも新しい試みが生まれて、社会の発展につながったらいいな、と私は思っています。

関：今の私たちの姿勢が、コロナ後の社会につながるということですね。さいごに、休校中の生徒たちに向けてメッセージをお願いします。

小林：もちろん、様々なイベントや大会が中止となり、本当に残念だと思います。でも、だからこそ、「コロナが終息した後」に生きるものを得てほしい。この期間は、「一人で、自分で物事を行うスキル」を身につける絶好の機会だと思うし、それは一生モノになると思います。

関：ありがとうございました！

この休耕期間、前向きな姿勢で、今できることを一生懸命に取り組みましょう。

今、何をするかで、「コロナが終息した後」が変わるかもしれません。頑張ろう！

Hokuetsu Challenge ③

医療従事者にエールを

新型コロナウイルス感染拡大対策として2度目の休校。北越高校では4月6日（月）から15日（水）まで授業はありましたが、ほぼ2か月間様々なことが自粛される生活が続いています。まず7都府県に緊急事態宣言が出され、ついには先週16日（金）に全国に緊急事態宣言が出されました。マスクや消毒液の不足は続き、感染者数の増加の勢いは人々の不安を増大させています。しかし、そんな中でも、最近では医療に従事されている方々に感謝の気持ちを表したり、励ましの声を伝えたりする動きが見られます。「医療従事者にエールを」で記事を検索してみてください。また、現在の医療現場についても理解を深めてください。

4月22日（水）の解答（魚編の漢字と写真のマッチング）

- | | | | | | |
|------|-----|------|-----|------|-----|
| 1 鱈 | (ケ) | 2 鮎 | (セ) | 3 鯉 | (サ) |
| 4 鮭 | (ソ) | 5 鯖 | (ス) | 6 鮫 | (ア) |
| 7 鯛 | (イ) | 8 鰯 | (キ) | 9 鮪 | (ウ) |
| 10 鯨 | (エ) | 11 鮪 | (カ) | 12 鰾 | (オ) |
| 13 鰯 | (ク) | 14 鰻 | (コ) | 15 蛸 | (シ) |